

人間世界の未来は

2023年2月19日

中西卓 @岡山

原始の時代 地球に様々な生物が芽生えた中で脳みその量が多かった人類が恐竜のような大型動物に負けないで現代まで生き残ってきた。賢さが他の動植物と断然違ったからだろう。個人が槍や弓矢を持つまでは良かったが、集団になって人間どうしが闘うようになり、領土を取りあう、飛び道具を作って争う現代に至った。

他の動物は生きて行くほかに余分なものを持たない。人類だけが戦車や軍艦、戦闘機、核兵器で相手を脅すために莫大な金をつかう。2度の世界戦争に懲りてやっと平和になったはずが、ウクライナの戦火、同じ民族が争う中国・台湾、朝鮮がある。宗教の違いによる中東での紛争も絶えない。日本は一つの民族が島国に住むので、本来安全で平和な筈が核の傘など厄介な考えのために気楽ではない。

風船爆弾が今頃にと思ったら、様子が違う。H3 ロケットも一筋縄ではない。化石燃料に代わる次世代エネルギーの発電、どこまで行くのか AI の未来、人間は賢すぎて難しい問題を次々に作って苦しむ。地震は人知が及ばないにしても 気象異変による災害は産業革命がもたらした、戦争による破壊は人間悪の極みである。

先日の朝、NHK 国会中継で久々に石破さんが質問に立つのを見た。最近の国際緊張に乗じて審議不十分のまま軍事予算を倍増するのは疑問、トマホークは役に立つのか、専守防衛の筈が・・・など厳しい発言が政界の風潮に一石投じる意義があったと思う。

88 を生きる我ら世代は戦中戦後の貧しい生活を体験してきた。ウクライナの人達の近況

に 防空壕を思い出す。空襲警報で下校したとき、川向こうの八尾飛行場を狙ってきたグラマン（艦載機）に怯えて田圃の畔に伏せたこともあった。

飽食と快適な住空間に慣れた暮らしが これから先どうなるのか。一度立ち止まって考えてみたいが、シニアクラブでそんな話を持ち出すことができない。「あなたは幸せですか」と問われたら 多分「はい」と答えるだろうが、いつまで今の身体状況で生きられるか、窓口負担が増えて懐も気になる、孫が戦場に立つこともゼロではない、90 から先は心配せずにおこうと思う。

先日 間に合わせの拙稿 17 年前の「駆け足・・・」で手抜きした埋め合わせでもありますが、今度は生の話題提供です。次回参加の何人かでも関心を持ってくださればと 偏見を承知で思うままに書いてみました。KOZOOM サロンの話題に相応しくないかも、新しい情報がないのに、HP 紙面とミーティング時間に迷惑かもしれませんが、ご了承をお願いする次第です。



雪のあと、
平和な朝